

決算

(資料は社会福祉協議会または社会福祉協議会ホームページで閲覧できます)

事業区分	収入	支出	前期末支払 資金残高	当期末支払 資金残高
社会福祉事業 (保健センター・栗の子)	3億709万7,924円	2億9,790万9,828円	8,277万5,135円	9,196万3,231円
収益事業 (仏舎利殿・葬祭)	3,266万1,717円	3,259万5,384円	3,423万9,778円	3,430万6,111円

事業報告(抜粋)

令和4年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス禍の中、地域福祉推進の中核的機関として「互いに支えあい、安心して生活できる福祉のまち・篠栗づくり」を推進し、①安心して生活できる地域福祉の構築 ②栗の子保育園の運営 ③運営基盤の強化を重点目標とし、感染拡大防止対策を図りながら事業を実施しました。

地域福祉・ボランティアセンター

ふれあい・いきいきサロンおよびおひさま活動は、感染防止対策を実施し、高齢者の見守り・閉じこもり防止・介護予防を目的に、福祉協力員を中心としたボランティアの皆さまの献身的な活動により、電話や訪問による見守り、屋外活動などを行いました。子育て・障がいサロン活動は三密の回避が難しく中止が続きました。

ボランティア活動の中止が続く中、直に人と会わなくてもできるボランティア活動を模索し、おうちボランティアと称し、折り紙作成や福祉施設への配布、リメイク布マスクの配布など、地域に暮らす人たちがつながりや、励ましを感じられるような活動に取り組みました。

介護保険事業

訪問型サービスAの生活援助を、感染防止対策を行い実施しました。また、生活支援体制整備事業については、協議体活動・生活支援コーディネーター業務として、買い物支援の取り組み・地域のニーズ調査・地域の話し合いの場の推進に取り組みました。

その他

コロナ禍の影響で経済的に困窮している人からの相談が急増しています。生活福祉資金貸付の相談対応や、子育て世帯へのフードサポート事業を行い、困窮世帯への支援につとめました。

そのほかさまざまな事業を行いました。社会福祉協議会ホームページに事業の概要を掲載しています。

収益事業

葬祭事業・納骨堂管理運営事業を継続して行いました。

新任福祉協力員の研修会を開催しました

6月14日、一人暮らしの高齢者などを見守る新任の福祉協力員の研修会を行い21人が参加しました。任命式のあと、医療法人浜江堂三野原病院の永田 英子教育師長による認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の人やその家族への支援方法を学びました。

ふれあい・いきいきサロンは、21行政区すべてで、福祉協力員の皆さんが工夫を凝らしながらボランティアで運営を担っています。今後も計202人の福祉協力員の皆さんと連携し、高齢者などの見守り活動を推進します。



夏休み福祉体験教室

「認知症ってどんな病気?」「障がいのある人の生活の工夫って?」話を聞き考え、施設見学をして、自分にできること・やさしい町づくりを学びます。充実した夏休みを送りたい小学4～6年生の皆さん、ぜひご参加ください。

内容／①認知症サポーターになろう
②手話について学ぼう
③盲導犬訓練センター見学

日時／①7月27日(木)②7月28日(金)10～12時③8月4日(金)10～12時 ※3回通しての教室です ※③のみ9時30分集合

会場／オアシス篠栗 1階 研修室

参加費／300円(3回分)

定員／25人(先着順、町内の小学4～6年生)

持ってくるもの／水筒、筆記用具、参加費(初回のみ)、上履き(3回目のみ)

申し込み／7月3日(月)～21日(金)までにボランティアセンターへ電話で申し込み。
TEL 947-7101(土・日・祝日を除く)



昨年度開催のようす



子育て講座を開催しました

5月24日に、子育て講座「知ってる? 添加物」を開催しました。当日は17人が参加し、添加物について実験を交えながら学びました。参加者からは「実験がとてもわかりやすかったです」「早速、できることから始めてみます」などの声がありました。普段の食事について見直す機会となりました。



ご寄付ありがとうございます

社会福祉協議会へ次の皆さまからご寄付がありました。厚くお礼申し上げます。

いただいたご寄付は、社会福祉事業に有意義に活用させていただきます。



一般寄付として

■片山歌謡教室 日本舞踊藤扇流洋美会さま



香典返しとして

■篠田 洋さま 下町区
遺族 篠田 知子さま
■七田 繁さま 尾仲区
遺族 七田 博美さま

(5月受付分)

